



ランチタイム・1 week zoomセミナー

今後、5年10年の大変化への予測
そして、今すぐやるべき具体的な対策

DX・AIに振り回されず、いまから準備すべきこと

益々厳しく
なる時代へ

2024.03～04月特別号
JMMO, JMIC, MP, NC合同

対策をとれば
なんの心配もない

第1回

4月11(木) 12(金) 13日(土) 15(月) 16(火)
各12:10～12:50(事後フリータイム13:30まで)

日本マーケティング & マネジメント研究機構
株式会社企画塾・代表取締役塾長
高橋憲行

企画塾

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目59-4クエストコート原宿511
FAX03-6447-0881 <http://kjinet.co.jp/> web@kjinet.co.jp

本日・4月11(木) のテーマ



ランチタイム・1 Week zoom セミナー (第1回)

今後5年10年の大変化へ予測と対策

DX・AIは、単なる基本業務。それ以上に重要なやるべきことを忘れるな
この30年の常識は、今後は非常識という、まるで違う時代が来る
……大変化、リスクが襲う時代をどう生き抜くか？

4月11(木) 12(金) **13日(土)** 15(月) 16(火)

5日間、各日12:10~12:50 事後質問タイム 13:30終了 数回参加も全参加も同じ費用
休憩タイムに設定したのは、多忙なあなたのために……食事をしながら、ぜひ有効活用してください

5年、10年の大変化へ予測と対策

5年、10年の変化は、今までの30年とは比較にならない変化を遂げる
その準備はできているか？

総合的に、日本での企業経営・マーケティングは？

高付加価値化は絶対的に必須、人件費は大幅アップ、離職率さらに急増、その対策は？
高付加価値化は、今まで以上に要求され、それにはどんな対策をとるべきか？

進むDX、AI化の波は当たり前、さらにその上を行くとはどういうことか？

ほとんど知られていない、実に面白い高付加価値ホームページを紹介して、DX、AIの先を示す

本日は総論
になりますこと
お許しください

世界は動乱期、日本は没落傾向へ

世界は動乱時代へ

ウクライナ**vs**ロシア
イスラエル**vs**パレスチナ
イスラエル**vs**イラン
チャイナ海洋覇権進出
中南米の不安定化
恒常的アフリカ不安定



日本の世界的地位の低下

2024年問題,2025年問題
半導体大騒ぎの体たらく
日本経済はほぼ「自動車」のみ
インバウンド騒ぎの未来
少子高齢化をどう活用
優秀頭脳は海外へ!!

ドル時代の相対的縮小

もしトラは？

円安と物価上昇(インフレ)

日本は相対的に没落傾向へ!!



今までの予測先取りの実績



多様にやってきましたが

メディア嫌いで取材を受けていないので

企画の時代を演出、企画書を先がけ、マーケティング時代の先駆け

金融危機予測……アジア通貨危機1997年（萬田壱平のペンネームで小説）

会計事務所のコンサル化時代……1999年、**JMMO設立**

飛行自動車時代……2005年、経産省に提案（ただ驚かれたが……）

ロボット時代……書籍に（当たり前なので予測とも言えないが、ひとまず書籍に）

それなりに予測を行い、一部、具体的に実践!!

企画・企画書・マーケティング時代を演出



マーケティング時代を演出しようとして出版……………1980年
しかし、まったく売れずに失敗（早すぎたか!?)



マーケティング包含した「企画」を前面に出して出版…1984年3月
夜の「売れ筋ビジネス書」番組でベスト10に入る
それなりに売れ、ヒットの兆候



「企画力」に加えて「企画書」の出版を刊行……………1984年10月
相乗効果か、売れに売れる
1995年、実務書を含む社会経済書でベスト8に（八重洲ブックセンター調べ）

問合せ電話や、経営者からの面談依頼、取材依頼、講演依頼
業務依頼が膨大に押し寄せた

企画・企画書は社会現象へ !!

著作の大ヒットの結果、実に多数の一流経営者や知識人に会う機会が次々と。先方からオファーが次々に来る。テレビ、ラジオ、取材、講演依頼、出版依頼執筆依頼などが、日常的に来たが、経営者とは、会ったがメディアは90年代に入り、ほぼ断ってきた経緯がある。



竹村健一氏(たけむらけんいち)2019年没。
稀代の評論家、著述家
大物政治家を自分のテレビ番組に次々招聘して切った貼ったの論陣。当時の小中学生は日本の総理と勘違い。高橋は大ヒット著作からラジオ番組で対談を数度。彼は「高橋さん、この図解の本は、めちゃうちゃオモロイ。でも日本じゃアカンな、米国に行ってやってみ。世界で活躍できるわ!」と言われたのが印象的。ちょっとその気になったものの、あまりの多忙さが続いたために果たせず。



野田一夫氏(のただずお)2022年95歳で没。多摩大学、事業構想大学名誉学長。ニュービジネス協議会初代会長。当時、高橋著作を見て共感。すぐに協力を要請され事後親交。高橋は、野田氏から大学教授などへの転身を何度も勧められ、いつも困った。



真藤恒氏(しんとう ひさし) 故人2003年没
電電公社最終代総裁、NTT初代社長・会長
80年代後半、総裁就任直後に面会、1枚企画書にご興味、しかし「役人には図解はムリかな、しかし1枚はいいね。」と。数ヶ月後「1枚起案書運動」が開始、公社の合理化効率化へ。



高原慶一郎氏(たかはらけいいちろう) 故人2018年没
ユニ・チャーム創業者・初代社長・会長
80年代後半に面会、社員への講演ほか、プロジェクトをやるうという話に。当時プレゼンした1枚企画書は次ページに。バブル崩壊で棚上げになったが1枚企画書に非常に共感。



森健一氏(もりけんいち) 1938年生
日本初のワープロ発明者。東芝常務、東芝テック社長。
80年代後半、森氏東芝取締役時代にシンポジウムで一緒に登壇。企画書本に非常にご興味。すぐに業務を発注頂き、大阪から毎週東京の東芝本社へ出かけていた。



林雄二郎氏(はやしゆうじろう) 故人2011年没。
経済企画庁で長期計画に関与、東工大教授、日本財団理事長。
情報社会を予見した書「情報化社会」を刊行。高橋は氏に感銘し東工大ニセ学生に。高橋が大規模シンポジウム「情報社会」をまかされた際、主講師に招聘。氏も高橋の企画関連著作に関心をもたれ、情報社会との関連をご一緒によく語った。



佐々木正氏(ささきただし) 故人2018年、103歳で没。
第二次大戦中にドイツでレーダー研究し、潜水艦で帰国した異色の経歴。シャープに転籍し、専務、副社長。ソフトバンク孫氏の電訊機を1億円で購入。後に苦境も救ったことで有名。高橋とは京都でシンポジウムにご一緒に登壇して後、親交。

1997年秋、三洋証券・山一・拓銀が破綻!!



1997年3月、日本の金融崩壊を小説仕立てて刊行する
日本には140兆円の不良債権があるという予測小説
1993年から構想、だが大手出版社はのりが悪く、小さな1996年から刊行
ペンネームは萬田壺平「日本崩壊」、新人小説家としては異例の5万部!!



1997年11月、台湾で「崩壊之日」として翻訳出版
山一証券、拓銀が破綻した直後であり、新聞の一面には、金融崩壊を予測した人物として登場する。テレビ出演も
(台湾では、多数の翻訳書が出ているため、本名で刊行した)
金融崩壊時点での翻訳であって、日本以上に台湾で売れたとか

小説では、1998年3月に金融破綻として描いたが、半年早く事態が発生した

かなりタイムリーな予測小説刊行だった!!

2005年、経産省に飛行自動車を提案!!

自動車として道路走行



翼を拡張



滑走路から離陸し飛行



2005年に経産省へ提案

(以下と同じコンセプト)

スロバキアの飛行自動車

2010年代後半から開発され

2023年には販売へ

近年は、飛行自動車よりドローンが主流に



中国、米国その他多数の国でドローン型が開発中
 実験走行を普通に実践中
 軍事用途目的もあり、ドローンが優勢

日本もドローン開発途上
 2025年、関西万博で実用飛行予定

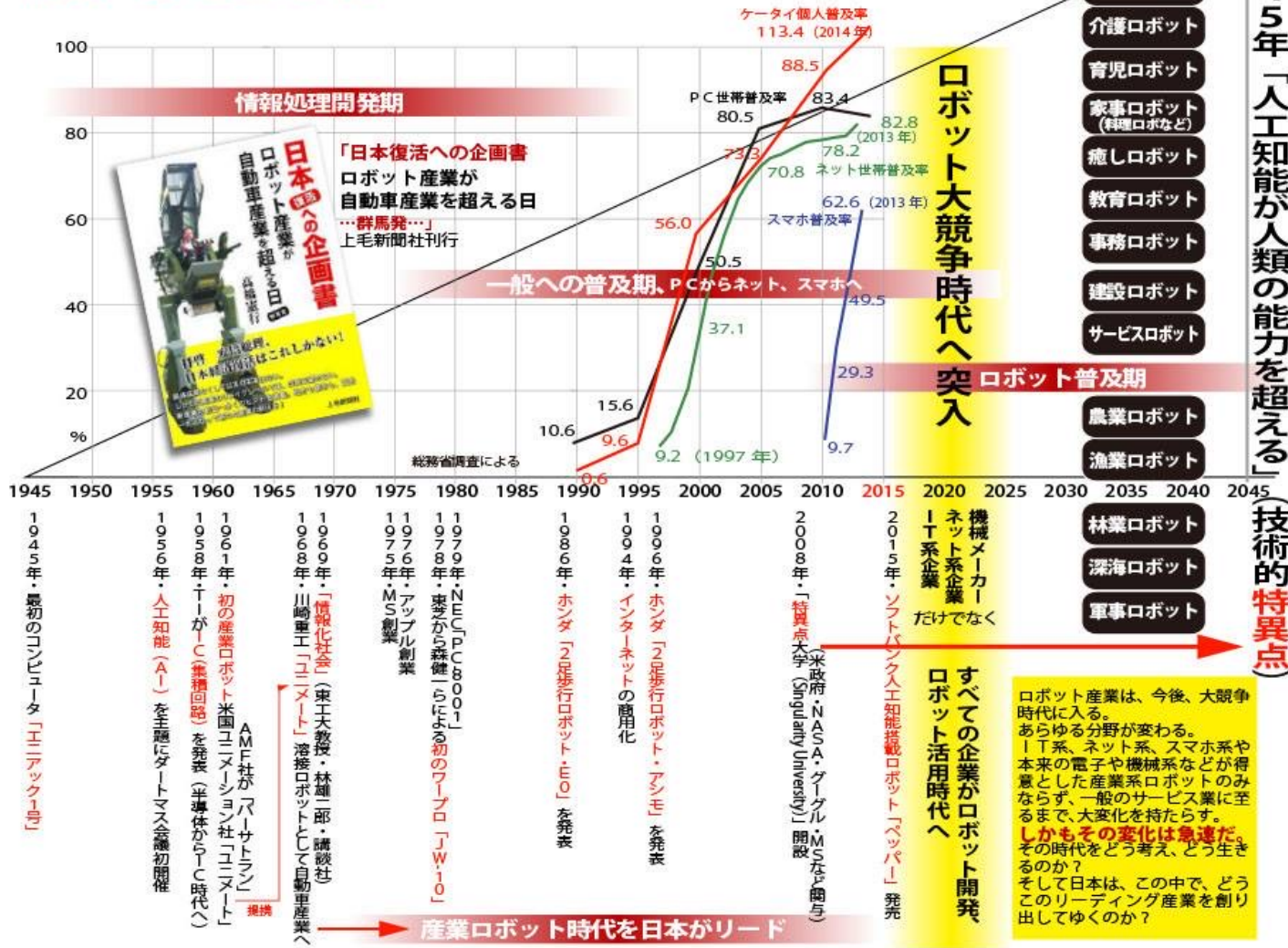
飛行自動車の優位性も高い

ロボットの時代へ

ロボット大競争時代を、どう生き抜くか!?

IT系企業、ネット企業、スマホ系企業だけでなく
一般のサービス業に至るまで、ロボット時代を迎える!

IoT時代を生き抜く
Internet on Things



2045年人工知能が人類の能力を超える
Singularity Point

イーロン・マスク氏
2025年末には人工知能(AI)が賢い人間の知能を超えると予測

前倒しへ

2005年ごろ作成
2010年ごろより随所で発表
図中「ロボット」は2015年刊行

10年後、日本の世界における地位は史上最低へ

日本の世界的地位の低下

2000年 1人当たりGDPは世界第2位
2023年 34位あたりまで下落(先進国最下位)10年後は40位台確定

2024年問題,2025年問題

2024年問題 クリアするが運賃他値上げへ(10年後はドローン配送も)
2025年問題 団塊の世代全て後期高齢者へ、以後企業数の大激減へ

半導体大騒ぎの体たらく

半導体は単なる部品、完成品への視点が必要、現在は騒ぎすぎ

日本経済「自動車」依存

日本経済の現実には自動車が大きいEV化はどうなる
自動車以外の産業、特にロボット産業の本格化が鍵だが出遅れ日本
日本の活路は、介護ロボット。少子高齢化への効果大

インバウンド騒ぎの未来

インバウンドは「超」平和産業、世界の平和が大前提。災害も
しかし世界各地は、紛争化へ大きくシフトする

少子高齢化をどう活用

プラス発想の「少子高齢化」社会が日本を豊かにする
介護ロボットは活路、自立支援ロボット、業務支援ロボットも活路

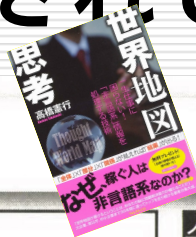
優秀頭脳は海外へ!!

円安では、どうにもならない海外流出(優秀者ほど海外へ)
日本のベンチャーが、何を始めるかが鍵

円安と物価上昇(インフレ)

円安と物価高を超える企業のみ勝ち組に、給与増は重要
大卒初任給ユニクロは30万円、熊本TSMC28万円(日本平均22万円)

日本のかつての「強み」が、ほぼ失われる

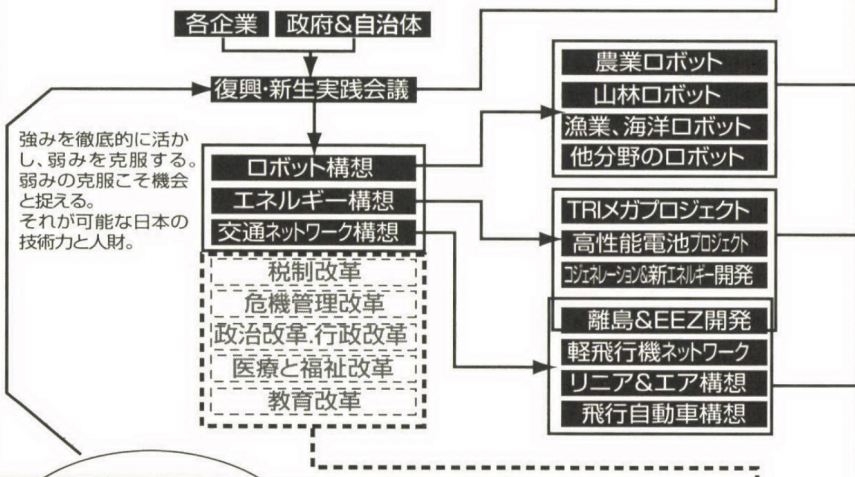


2005年頃に構想書籍には「世界地図思考」2011年

新生日本のビジョンと戦略 (大震災からの復興と少子高齢化での成長戦略)

日本の大問題 問題だらけの日本の現状
 大震災の膨大なコスト負担を政治改革・行政改革なしに国民に押し付ける政府。成長なき消費税や復興税は、景気回復どころか日本沈没へと向かう。国際環境は日本に厳しい状況ばかり、国内的には少子高齢化社会という、高コスト社会をどうするか、スキームがない。日本の現状を把握できず、対策の打てないトップがそろった日本。さあ、どうする？

日本の課題と解決の方向性 強みを活かし、人口減での成長を果たす！



強み Strength	弱み Weakness
世界最強の高精細度技術を、日本再生、新生に徹底活用。 日本の勤勉・実直な国民性でプロジェクトを推進。 膨大な国土（特にEEZ含む）の徹底活用を図る。	少子高齢化社会 日本の異常なシステム不全（旧制度、政治・行政の機能マヒ、東京一極集中の大問題、地域間ネットワークの不在、農業の遅れ） ★これらを機会と捉える
機会 Opportunity	脅威 Threat
円高で輸入価格の下落と海外企業M&Aのチャンス。 ★弱みの克服を機会と捉える思考回路を！（世界地図思考）	企業への6重苦。 （円高・法人税・労働規制・関税・CO ₂ 削減・電力価格） 自由化、TPP 欧州金融問題、米国景気低迷、新興国不安定化。

本書ではこの5政策については、紙面の関係で割愛する。しかしロボット産業他の内需拡大で、他の改革が促進される。内需拡大なくして、改革もない。内需拡大なくして国内雇用も、福祉も生まれにくい。

人口減少下での安定成長へ 人口減少下での安定成長へ
 人口減少下は景気減退させる……というのは幻想である。かつて自動車市場は存在しなかった。その自動車産業があることで、どれほどの経済が、人口と無関係にあるか、明確化したデータはない。しかし自動車生産の減衰は、間違いなく、経済の減衰につながる。
 まずはロボット産業を育成し、ロボットを人と見立てれば、人口増と同様の経済価値を生む。しかも実質的に低賃金労働者の導入であり、国際競争力にも寄与する。

日本復興・新生実践会議 実践を見据えた構想会議を！
 ほとんど具体策に乏しい、総花的な構想と、ひたすら復興税のみを急ぐ「復興構想会議」は復興や新生には、ほぼ機能不全。ダイナミックな変化を日本にもたらす構想が必要。
 むしろ実践に、現場に効力を明確化した会議の創設が望まれる。

ロボット構想の具体化 ロボット産業の本格化が日本新生の引き金に！
 農業従事者平均年齢が64歳という異常事態。農業の10年後は壊滅する。ロボットは2足歩行ではなく足を大きく方式で種蒔きから施肥、除草、防虫、収穫までを行う全自動型を目指し開発推進。中途半端な大型農業を推進するのではなく、現状の狭い田畑での生産性を大きく上昇させるためにロボットを導入。目標は200万円以下のロボットで5年償却、太陽光などでの充電で、年間50万円以下のロボット経費を目標とする。農業の自由化にも十分対抗可能となり、研修生の導入も不要に。

エネルギー構想の具体化 メガフロート、メガソーラー、メガウェーブのTRIメガ
 メガソーラーが脚光を浴びるが日照時間の少ない日本は不利。土地利用面も難題が多々。造船の再活性化を目指し、メガフロート上にメガソーラーを設置、下部には波力発電（メガウェーブ）を設置。晴れて太陽光、荒天で波力をエネルギーに変える。造船所で製造する生産性の高さもコスト削減となる。さらに、沖縄をはじめ南西諸島、伊豆小笠原諸島の離島の数百箇所に設置、離島活性化に大きく寄与。電力は送電せず、電池で内地へ移送し、自動車や家庭用電源として、電池の高性能化とともに工業用へも……（他は本文で解説）。

交通ネットワーク構想の具体化 交通体系を、空路に変え、地方の活性化を！
 東北6県、9空港間に定期便はなく地方間交流が貧弱。地方空港は超赤字。急峻で南北に長い日本の高速道路は膨大なコストがかかる。地方空港間を主に結びセブナなど軽飛行機の全国ネットワークを結び、国産軽飛行機を一大産業へと育成する。将来的には飛行自動車の時代へ。さらに携帯基地局を軽飛行機誘導管制基地として活用。飽和した携帯市場から次の新事業へ。離島のメガフロートは滑走路となり、観光の活性化へ。茨城空港・成田・東京・羽田・静岡空港と、リニア&エアで旅客輸送のシームレス化へ。

日本の針路、日本産業の進路 モノづくりの「超」高精細度で21世紀の本格化へ！
 モノづくり大國化をめざせ……国家、産業の運営、情報産業も、モノ、プラットフォームなくして成立しない。「超」高精細部品、商品を作り、世界に貢献する（エコ産業はその延長線上の産業）。
 コンテンツ大國化をめざせ……コンテンツは国の文化の象徴、クールジャパンの推進を。
 地方主権と自立の時代を……人が自立するように地方の自立は国家繁栄の基礎。道州制の導入と同時に、東京への往復ではなく地域間移動のインフラ整備を（交通ネットワーク構想と関連）。
 金融財政論ばかり跋扈して国滅ぶ……金融財政は国の必要条件で十分条件ではない。産業革新、技術革新が経済を発展（シュンペーター理論）。
 ★紙面の関係で多くを語れないが、要点のみ示唆した。

5年後、10年後にそなえて何をすべきか？

基本・円安に備え

企業数減少に備えよ

円安と物価上昇(インフレ)

中小企業経営者は？

コンサルタントは？

会計事務所は？

AIやDXへ、どう付き合う？

常に高付加価値、高生産性への工夫を怠るな
ただ、DX、AI などへの一般的な話にのりすぎるとリスクになる

高齢経営者企業の突然の廃業、起業家の破綻は日常化
顧客が減ることを前提に、伸びる企業を見据えて経営を

円安と物価高を超える企業のみ勝ち組に、**給与増は重要**
大卒初任給ユニクロは30万円、熊本TSMC28万円(日本平均22万円)
5年で倍増を視野に入れるくらいを意識する(できないと離職増)

規模によって異なるが、他にない得意技を持つこと
それ以外を捨てることに躊躇しないこと (リスクに備える)

現場思考で、得意分野を徹底すること
他にない問題解決ができるターミナルケア的に最後に依頼が来る

会計・税務専門での業務は、DX, AI化しても生産性は下落
業種特化など、顧客目線の業務が必要になる
(飲食専門、介護専門、工務店専門、理美容専門、さらにはマーケティング専門など)

トップレベルの専門家以外は、うまく使うことに徹する
ワープロ時代、グラフィックソフト、PC、タブレット、スマホ
これらの進化の歴史を振り返って、その先を見ること

かなり厳しい時代に向かう……準備を!!

中小企業が求めるもの

ほとんどがMarketingマターとなっている

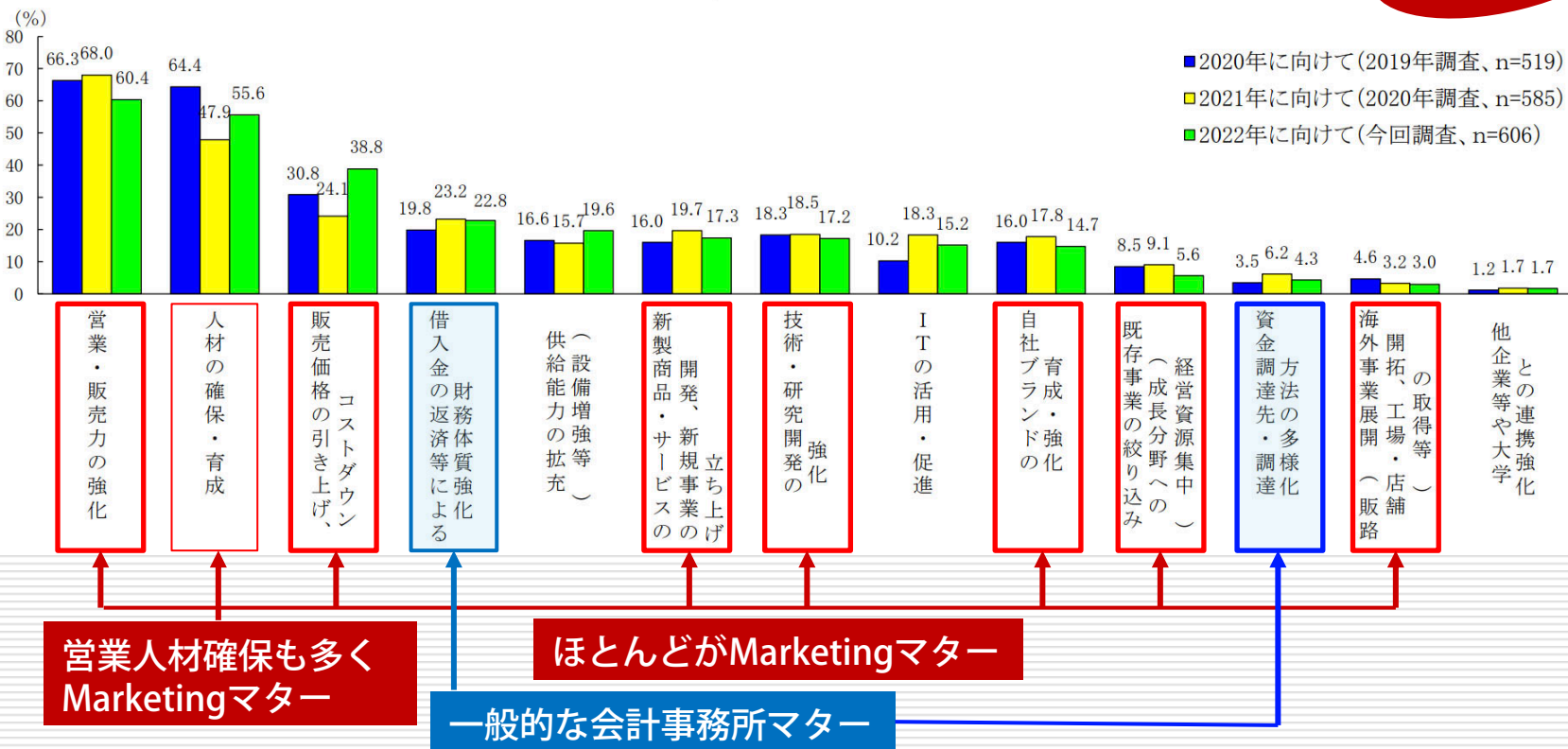
日本政策金融公庫 2022年の中小企業の景況見通し
 ～「中小企業景況調査」(2021年11月)の付帯調査結果～ より

7 経営基盤の強化に向けて注力する分野

- 2022年に注力する分野は、「営業・販売力の強化」が60.4%と、これまで同様最も高い割合を占めている。
- 「人材の確保、育成」や「販売価格の引き上げ、コストダウン」などの割合は、前年調査に比べて上昇している。

確認掲載

図-13 経営基盤の強化に向けて注力する分野 (三つまでの複数回答)



ご清聴、ありがとうございました

膨大な、1万事例を超える増販増客成功事例報告



毎年30事例を収録したCTPTMarketingの
成功事例「増販増客事例集」18巻



詳細にツール類なども収録した
さらに本格的で緻密な
「増販増客marketing事例集」18巻

高橋憲行（株）企画塾・代表、JMMO主宰
株式会社企画塾

日本マーケティング・マネジメント研究機構
Japan Marketing & Management research Organization
東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目59-4 クエストコート原宿511
TEL03-6447-0880 FAX03-6447-0881
<http://www.kjnet.co.jp/>